

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年度事業計画に基づき、「技術力の向上と新しい技術の取得」「経営基盤の充実」「業界の将来に向けて」の実現に向け、各実施方針に基づき、年間を通した活動を行った。

第 6 回目となる「郷土づくりシンポジウム」では、更なる充実を図り、高校生等多くの方々に参加していただく等この業界の認識・イメージアップと就業意欲の喚起に努めた。

創立 40 周年となった今年度は、「創立 40 周年記念事業実行委員会」を中心に、記念式典の実施、記念誌の発刊、記念事業として「ドローンによる学校撮影・操縦体験」を県内 3 校（鳥取工業高校・倉吉農業高校・米子工業高校）へ行い、その写真を贈呈した。さらに、協会腕章を作成して会員へ配付し、視察・シンポジウム・災害応援等に使用し協会・業界の認識・イメージアップに努めた。

国交省が平成 28 年度から取り組んでいる ICT 等の積極活用による公共工事の生産性向上について、鳥取県においても本年度から取り組まれる中、CIM 等についての研修に積極的に取り組み、会員技術者の理解を深めることに努めた。その他各種研修会を開催する等技術力の向上と県、国との意見交換を実施する等経営基盤の充実、公共の福祉の増進に向けた次の事業を行った。

I. 技術力の向上

1 平成 29 年度シンポジウム（10 月 24 日）

この郷土づくりシンポジウムを通し、テーマである「地震に起因する土砂災害」を考えるとともに、第 1 部の講演、ホール（ホワイエ）でのパネル展示、ギャラリーでの TS 機器・UAV 等展示、実演等により、高校生、若者に向けて業界の魅力を発信した。

○主 催：（一社）鳥取県測量設計業協会

後 援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所
鳥取県、国立大学法人鳥取大学、公立鳥取環境大学

○内 容

来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所
所 長 北 潤 弘 康 氏
鳥取県県土整備部 部 長 山 口 真 司 氏

【第 1 部】

最近の測量、設計業等を取りまく現状について

国土交通省中国地方整備局企画部総括技術検査官 川上 隆三 氏

平成 28 年 6 月熊本県災害視察報告

（一社）鳥取県測量設計業協会総務委員会委員 白間 学

基調講演

「地震に起因する土砂災害 ―予測と対策の最新技術―」

鳥取大学大学院工学研究科准教授 小野 祐輔 氏
同 中村 公一 氏

【第2部】

パネルディスカッション 「地震に起因する土砂災害」

司会 鳥取大学大学院工学研究科准教授 小野 祐輔 氏
パネラー 鳥取大学大学院工学研究科准教授 中村 公一 氏
鳥取大学大学院工学研究科助教 梶川 勇樹 氏
鳥取県県土整備部部長 山口 真司 氏
鳥取県測量設計業協会会長 大野木 昭夫

- 参加者 271名（うち発注機関・高等学校(鳥工、倉農、人材センター倉吉)・一般 118名)
- 鳥取県魅力発信事業の対象として開催した。

2 技術講習会、研究会等の開催

CIM関連研修、優良業務発表会及び熊本県の災害現地視察及び中国各県協会・県と連携して研修会等を開催し、技術力の向上・啓発に努めた。

また、全測連等主催の講習会案内、技術関係図書の斡旋・紹介、技術情報等の提供を行った。

(1) 第2回鳥取県優良業務発表会

平成27年度、協会が要望していた優良業務表彰制度が鳥取県により創設され、9月1日に第2回目の表彰が行われた。(15業務 9者表彰)

これを受け、表彰業務やその取組を広く会員や発注者等に知っていただき、業界全体の技術力等能力の向上のため開催した。開催に当たっては、中国地質調査業協会鳥取県支部、(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会と共催し、建設コンサルタント業界全体での情報発信を行った。

日時 平成29年4月21日(金) 13時30分～6時30分
場所 倉吉未来中心 小ホール

発表者及び発表業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

- ①シンワ技研コンサルタント(株) [鳥取県土] 尾崎 浩一
国道178号(岩美道路)「地質調査及び補強土壁設計業務委託」(補助)
- ②アサヒコンサルタント(株) [八頭県土] 西尾 尚
大目谷川通常砂防工事「測量詳細設計及び地質調査業務委託」

- ③西谷技術コンサルタント(株) [中部県土] 渋谷 久志
東郷池改修工事「地質調査及び軟弱地盤解析業務委託」(総合評価)
- ④サンイン技術コンサルタント(株) [米子県土] 田島 昌朋
県道赤碓大山線(萩原工区)改良工事「測量詳細設計業務委託」(社会交付金)
- ⑤ヒノコンサルタント・ダイニチ技研・ワーパス共同企業体 [日野県土]
ヒノコンサルタント 森下 貴志
狐谷川通常砂防事業「詳細設計業務委託」

(測量・地質・補償関係コンサルタント部門)

- ⑥(株)ヨナゴ技研コンサルタント [八頭県土] 今田 晴之
湯谷川通常砂防工事「工損事前調査業務委託」

参加者 192名

(2) CIM研修

CIMに関し、JACIC・橋梁メーカー等の協力を得て研修会を開催した。

① CIM (Photog-CAD・3次元CAD) 体験セミナー

[米子会場]

日時 平成29年7月6日
場所 米子コンベンションセンター

[鳥取会場]

日時 平成29年7月7日
場所 県立福祉人材研修センター

講師 (一財)日本建設情報総合センター、川田テクノシステム(株)

参加者 56名

内容 Photog-CAD・3次元CAD実習等

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 94.5%

② i-Constructionセミナー(第3回)

CIMに対する理解をさらに深めるため、昨年から行っている研修の第3回を行った。

日時 平成29年12月20日
場所 倉吉未来中心
講師 大野木会長、瀧上工業(株)
参加者 41名
内容 i-Constructionの現状

実例紹介「鳥取西道路福井高架橋鋼上部工事のC I Mの取組み」
V Rの取組

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 66.7%

(3) 平成29年度災害復旧実務研修会

日 時 平成29年5月23日
場 所 倉吉市 伯耆しあわせの郷
講 師 鳥取県県土整備部技術企画課
参 加 者 63名
内 容 災害復旧事業の実務について
災害復旧事業の基本的事項や平成29年度の制度変更点
設計の留意点
事例紹介

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 98.0%

(4) R C C M・技術士第一次試験準備研修会

日 時 平成29年8月3日
技術士一次研修 10時～12時
R C C M研修 13時10分～16時
場 所 倉吉市 倉吉未来中心
講 師 (公社) 日本技術士会
鳥居 直也氏
参 加 者 技術士一次研修 30名
R C C M研修 40名

受講者アンケート結果 分り易い 技術士 100%

R C C M 97.4%

(5) 受発注者のための品質確保研修

会計検査指摘事項等についての研修会について、県へ要請し開催された。

開 催 日 平成29年10月11日
場 所 倉吉市 建設技術センター
参 加 者 76名

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 95.5%

(6) i - C o n s t r u c t i o n セミナー ～ CIM 情報化施工 本格化の時代へ ～

(一社) 日本建設機械施工協会中国支部、全測連中国地区協議会主催、JACIC 等共催、中国地方整備局、鳥取県等後援により、C I M、I C T 土工等についてのセミナーが広島、米子で開催された。

[米子会場]

開催日 平成29年4月12日

場 所 米子市 米子コンベンションセンター

参加者 263名（うち協会員 63名）

内 容

基調講演 i-Constructionの最新情報

国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課

施工安全企画室 課長補佐 近藤弘嗣

講 演 中国地方整備局に於ける『i-Construction』の進捗状況

国土交通省中国地方整備局 企画部

機械施工管理官 錦織豊（広島会場）

工事品質調整官 川上隆三（米子会場）

講 演 CIMの動向と今後の展開

（一財）日本建設情報総合センター 研究開発部

事例紹介 効果実証 ICT活用工事！ 山陽建設（株）土木統括部 中路恒平

事例紹介 CIMへの取り組みについて（広島会場）

復建調査設計（株） 事業推進本部 CIM推進室長 亀田雄二

事例紹介 3次元データの活用について（米子会場）

（株）ウエスコ CIM推進ワーキングリーダー 宮下征士

事例紹介 橋梁取付け部におけるICT土工事例報告

（株）荒木組 工務本部工事グループ

玉島笠岡道路六条院東地区改良工事作業所 所長 中塚仁視

(7) 「i-Construction&CIM/3次元CAD研修会 in 米子」

全測連主催、中国地区協議会共催のこの会が開催され、3次元地形データ生成手順の理解と最新の3次元CADソフト操作体験を通してICTスキルの向上を目指した。

開催日 平成29年8月2日

場 所 米子市食品会館

参加者 19名（うち協会員 9名）

内 容

座学① i-Construction&CIMの概要

講師：福井コンピュータ(株)

座学② ステレオ写真測量&UAVによる出来形管理要領改訂

講師：（一社）全国測量設計業協会連合会

座学③ 写真解析の手順・点群処理ソフト（SfM/Pix4D）機能説明

講師：(株)イメージワン

実習① 点群処理と3次元CADソフト (TREND-ONE&POINT)

講師：福井コンピュータ(株)

実習② 3次元測量データの活用場面

講師：福井コンピュータ(株)

座学④ CIM導入ガイドライン概説

講師：(一社)全国測量設計業協会連合会

(8) 全測連中国地区協議会第5回技術発表会

土木コンサル関係業務の技術力等の向上を図ることを目的に開催されている技術発表会が、山口県で開催された。

開催日 平成29年10月6日

場 所 山口市 山口健康づくりセンター

鳥取参加者 7名

鳥取発表者 西谷技術コンサルタント(株) 取締役設計本部長 田中孝志

内 容

特別講演

山口大学大学院創成科学研究科教授(特命) 松田博氏

事例発表①【鳥取県測協 推薦】

「倉吉管内道路附属物等点検業務」

西谷技術コンサルタント(株)

取締役設計本部長 田中孝志

事例発表②【島根県測協 推薦】

「宍道湖測量調査業務」

イズテック(株)

測量調査部次長 塚原和幸

事例発表③【岡山県測協 推薦】

「平成28年度旭川水辺現地調査(植物)業務」

(株)ウェスコ 環境計画事業部 岡山自然環境課

課長補佐 森定伸

事例発表④【広島県測協 推薦】

「福山河川国道管内道路整備効果検討業務」

復建調査設計(株) 総合計画部 道路計画課

岩原徹

事例発表⑤【山口県測協 推薦】

「山口管内公安測量業務」

(株)宇部建設コンサルタント 測量部

黒瀬大志

- (9) コンクリートメンテナンス協会主催「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2017」後援（平成29年5月11日 広島市）
- (10) 「コンクリート診断士受験対策」講習会（広島測協 4月26日）
- (11) R C C M受験対策講習会（広島測協 5月24日）
- (12) 第6回安全・安心な社会基盤の整備に関する講習会（広島測協 6月9日）
- (13) 平成29年度 実務処理能力向上研修「災害復旧実務講座(コンサルタント編)」
(広島測協 6月15日)
- (14) 第5回建設コンサルタント業務技術講習会（広島測協 7月7日）
- (15) 第8回合同技術講演会（山口測協 10月27～28日）
- (16) 平成30年測量士受験対策講習会（島根測協 平成30年3月25～27日）
- (17) 技術士第二次受験対策講習会（広島県測協 平成30年4月11日）
- (18) 平成30年度災害復旧事業実務研修会（山口測協 平成30年4月19日）
- (19) i-Construction セミナー ～i-Con 深化の時代へ～
(地区協 広島会場 4月17日、松江会場 4月18日)
- (20) 日本技術士会7月例会（技術士会 7月3日）
- (21) 日本技術士会 平成29年度中国本部鳥取県支部年次大会（技術士会 7月22日）
- (22) 第21回親と子の地学教室（地質協会 7月29日）
- (23) 平成29年度鳥取県支部第19回技術講演会（地質協会 11月17日）
- (24) 平成29年度新技術地下流水音探査法技術講習会（地質協会 10月27日）
- (25) 日本技術士会鳥取例会（見学会、講演会）（技術士会 12月2日、3日）
- (26) 橋梁補修設計研修会（4月23～24日 大阪）
- (27) 平成29年度災害復旧実務講習会（5月11日～12日 東京都）
- (28) SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術に関する講演会」（5月19日 鳥取市）
- (29) 【第4回】地山補強土工法他 防災関連技術講習会（6月13日 広島市）
- (30) ため池改修（補修・補強）設計研修会（6月13～14日 岡山市）
- (31) 第45回プレストレストコンクリート技術講習会（6月14日 広島市）
- (32) 公共基準点測量成果のまとめ方講習会（6月15日 広島市）
- (33) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会（6月22日 中部総合事務所）
- (34) コンクリート構造物の長寿命化対策に関わる技術講習会（6月27日 鳥取市）
- (35) 「圧入工法技術講習会・現場見学会」鳥取会場（7月7日 北栄町）
- (36) 平成29年度スペシャリストの会中四国支部(第2回)（7月26日 広島市）
- (37) 基準点測量A課程講習会（測量平均コース）（8月23～26日 広島市）
- (38) 日本コンクリート工学会中国支部・2017年度第1回講演会（8月28日 広島市）
- (39) 砂防ダム調査・計画・設計研修会（8月28～29日 大阪市）

- (40) 海岸護岸設計と港湾施設の補修・補強設計研修会（9月4～5日 岡山市）
- (41) 実務者のための UAV 利活用セミナー（広島会場）（9月12日 広島市）
- (42) 老朽橋プロから学ぶ橋梁診断・補修設計研修会（9月14～15日 広島市）
- (43) 地理空間情報イブニングセミナー（Web 講習）（9月15日 広島市）
- (44) 実務者のための UAV 利活用セミナー（米子会場）（9月27日 米子市）
- (45) 建設コンサルタント ミドルマネジメント講習会（10月5日 広島市）
- (46) 平成29年度鳥取県被災宅地危険度判定士養成講習会
（10月4日、26日 建設技術センター）
- (47) 建設業のいま、そしてこれから（10月5日 東京都）
- (48) 橋梁の補修・補強における設計・施工上のポイント（10月6日 東京都）
- (49) 全国土木コンクリートブロック協会 平成29年度技術講習会（10月19日 岡山市）
- (50) 千代川漁業対策協議会研修会（10月20日 県東部庁舎）
- (51) 平成29年度社会・技術動向講演会（中国・四国地区）（10月26日 岡山市）
- (52) 橋梁耐震補強設計研修会（実務実践研修）（11月6、7日 大阪市）
- (53) 平成29年度中国地方建設技術開発交流会（鳥取県会場）（11月7日 倉吉市）
- (54) 地理空間情報技術セミナー（11月14日 松江市）
- (55) 土砂災害・水害に関するシンポジウム（11月18日 米子市）
- (56) 平成29年度ドローン入門セミナー（11月22日 松江市）
- (57) スペーシャリストの会特別講演会（11月29日 広島市）
- (58) 測量数学・誤差学の基礎（Web）講習（11月30日 広島市）
- (59) 土研新技術ショーケース 2017in 広島（11月30日 広島市）
- (60) 維持管理技術フォーラム「近未来の社会を支えるインフラ維持管理技術の最前線」
（12月6日 倉吉市）
- (61) 総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー（山口会場）
（12月13日 山口市）
- (62) 2018 コンクリート診断士合格指南講座（12月16日～7月7日 広島市）
- (63) 山陰海岸ゾーンの学術研究奨励事業発表会（12月17日 鳥取市）
- (64) 総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー（平成30年1月18日 広島市）
- (65) 先駆的木造建築シンポジウム（平成30年1月26日 鳥取市）
- (66) 平成29年度「防災セミナー」（平成30年2月5日 東京都）
- (67) はじめての UAV 搭載レーザースキャナによる三次元計測（平成30年2月21日 広島市）
- (68) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会（第2回）
（平成30年2月23日 中部総合事務所）
- (69) 鳥取大学 S I P 報告会「効率的な維持管理システム開発および路面震動探査中間報告会」

(平成30年3月14日 倉吉市)

- (70) 第5回林業技術を考える会 (平成30年3月23日 鳥取市)
- (71) ネットワーク型 RTK 法による基準点測量技術講習会 (平成30年4月12日 広島市)
- (72) 法面の調査点検・補修・補強設計研修会 (平成30年4月12～13日 岡山市)
- (73) TSによる3・4級基準点測量技術講習会 (平成30年5月10日 広島市)
- (74) 平成30年度災害復旧実務講習会 (平成30年5月14～15日 東京都)
- (75) 平成30年度用地測量調査課程講習会 (Iコース) Web 講習
(平成30年5月14～18日広島市)
- (76) 沿岸海象調査研修 (平成30年6月 東京都)
- (77) 水路測量技術検定試験及び水路測量講習会 (平成30年6月、7月、11月 東京都)
- (78) 平成30年度ダム管理技士試験、養成講習会
(講習;平成30年7月25日 試験;7月、10月)

3 技術情報・業務情報の提供

- (1) 平成29年度版 災害復旧実務講義集
- (2) 平成28年発生災害採択事例集
- (3) 平成29年度版 設計業務等標準積算基準書、単価表作成ツール
- (4) // の解説
- (5) 災害関係法令例規集 (平成29年版)
- (6) 平成29年度 RCCM 資格試験受検準備講習会テキスト、想定問題・解答
- (7) 平成29年度版 工事歩掛要覧<土木編上・下>
- (8) 平成29年版災害復旧工事の設計要領
- (9) 平成29年版 災害手帳
- (10) 災害申請工法のポイント (平成27年改訂版)
- (11) 災害復旧問答集 (平成25年改訂版)
- (12) 災害査定添付写真の撮り方 (平成26年改訂版)
- (13) 災害査定の手引き (平成29年9月)
- (14) 平成29年度版公共測量積算ハンドブック
- (15) 必携 用地補償実務便覧 2018 年版
- (16) 平成29年版 河川六法
- (17) 改訂5版 道路法解説
- (18) 建設技術者のための現場必携手帳
- (19) 建設業 現場代理人に必要な21のスキル
- (20) 用地補償実務六法 平成30年版
- (21) 都市計画法令要覧 平成30年版

- (22) 道路法令総覧 平成30年版
- (23) 補償業務管理士試験問題の解説
- (24) 地籍調査事業費積算システム
- (25) 「土木設計技士」資格検定周知
- (26) G空間 EXPO2017 (10月12～14日 東京都)
- (27) 2017年地理情報標準認定資格(S-GI-Cert)講習・試験周知
- (28) コリンズ・テクリスに関する意見募集周知
- (29) 国土交通省「3次元データ利活用方針」の策定周知
- (30) 平成29年度公共工物品質確保技術者(I)・(II)資格試験周知
- (31) 平成30年度国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定周知

4 災害現地研修

災害からの復旧・復興に対する協会・会員業務及び行政機関との災害復旧協力、現地対応や業務協力など活動の参考とするため、今年度も引き続き被災地現地視察を行った。

開催日 平成29年6月8日
視察場所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村
阿蘇大橋地区斜面防災対策工事現場 (施工 熊谷組)
参加者 大野木会長、大西総務委員長外21名

5 平成29年度建設技術研修検討委員会

研修のニーズを把握するために行った受講者アンケート等の検証結果をもとに、検討委員会で協議・検討され、平成30年度の研修計画を決定された。

開催日 平成29年10月13日
場所 県庁会議室
議題 ○ 平成29年度建設技術研修結果について
○ 平成30年度建設技術研修の内容について・加点予定研修について
出席者 松本技術副委員長

6 鳥取県 i - Construction 推進連絡会

国が i - Construction の取り組みを更に推進するため、県単位で関係機関が ICT 活用技術の取り組みの情報共有を進め、ICT 活用技術の普及に向けた課題について対応策を検討することを目的に設立し、この委員として専務理事が出席した。

組織 ; 鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所、境港湾・空港整備事務所、鳥取県、鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、西日本高速道路、建設業協会、測量設計業協会、土木施工管理技士会、建設技術センター、日本建設機械施工協会、日本建設機械レンタル協会

- 1) 第1回 (9月1日)

- 連絡会設立、活動内容概要説明
- 国土交通省における i - Construction の取り組みについて
- 鳥取県における i - Construction の取り組みについて
- モデル事業の枠組み

2) 第2回（平成30年3月19日）

- 中国地方建設現場の生産性向上研究会について
- 平成29年度モデル事業の取り組み
- 平成30年度鳥取県における i - Construction の取り組みについて

7 「鳥取大学戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」への参画

研究から実用化・事業化までを見据えた研究開発を産学官連携で進める戦略的イノベーション創造プログラム「SIP」が創設され、鳥取県と鳥取大学では、『土木インフラの効率的な維持管理を図るため、業務を効率化するためのシステム』を現在開発されている。3月14日にはその中間報告会が開催され、システムの開発状況と県中部地域で調査を行われている路面震動調査結果等について報告された。次年度、「江島大橋プロジェクト」として、岐阜大学SIP社会実装支援チームの成果を活用した江島大橋の橋梁点検への新技術（ロボット技術）の適用性の検証と、新技術（ロボット技術）を活用した橋梁点検指針が作成される。

このプロジェクトの「橋梁点検への新技術の適用性評価委員会」、「江島大橋での点検方法検討委員会」、「新技術の適用性評価WG」、「江島大橋での点検方法等WG」に協会は委員・メンバーとして参加する。

○ 「橋梁点検への新技術の適用性評価委員会」

- 委員長 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）
- 副委員長 吉野 公（ 〃 ）
- 委員 国土交通省総合政策局、科学技術振興機構、技術センター
コンクリート診断士会、長本専務理事 他
- オブザーバー 地整、鳥取県道路企画課・技術企画課、島根県、境港管理組合 他

○ 「江島大橋での点検方法検討委員会」

- 委員長 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）
- 副委員長 吉野 公（ 〃 ）
- 委員 鳥取県道路企画課・技術企画課、島根県、境港管理組合、技術センター
コンクリート診断士会、長本専務理事 他

○ 「新技術の適用性評価WG」、「江島大橋での点検方法等WG」

- メンバー 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）
県道路企画課・技術企画課、技術センター、境港管理組合

コンクリート診断士会、協会 5 名 他

東部	アサヒコンサルタント(株)	奥村 智洋
	(株)荒谷建設コンサルタント鳥取支社	川本 篤志
中部	西谷技術コンサルタント(株)	田中 孝志
西部	サンイン技術コンサルタント(株)	松岡 晃宏
	(株)ヨナゴ技研コンサルタント	山根 清香

8 平成30年度砂防学会定時総会・研究発表会「鳥取大会」実行委員会

平成30年度、鳥取県で開催することを目指し、「平成30年度砂防学会定時総会・研究発表会「鳥取大会」実行委員会」が設立され、大野木会長が副委員長として参加した。

協会は、広告掲載、当日受付等の人的応援を行う。

開催期日 5月16～18日

会場 米子コンベンションセンター

9 全測連中国地区協議会技術委員長会議

中国地区協議会第5回技術発表会について、発表候補業務の選考について検討した。

開催日 平成29年8月8日

場 所 広島市

出席者 小林技術委員長

II. 経営基盤の充実

今年度は、鳥取県との意見交換会を実施する等積極的に活動を行うとともに、昨年に引き続き、入札制度、歩掛りの検討等を行った。県との意見交換会で課題となった事項については、検討・協議を重ね、県へ要望等実施した。

また、県の優良業務表彰は、今年度は、10社が表彰された。

1 入札制度等の検証について

(1) 簡便型総合評価入札

簡便型総合評価入札の「JV参加のあり方について」、「技術点の採点基準について」全会員を対象にアンケートを実施し、この結果を踏まえ経営委員会で検討、県へ要望書を提出した。

(11/8)

[要望事項]

1) JV参加のあり方について

- ・ 今後もJVを残すという前提で現在の制度を改正・検証しながら進めて頂きたい。
(仮にJV制度を無くし単独参加を基本とする場合は、ランク分けなど根本的な制度改正が必要)
- ・ セーフティネットの目的以外でJV参加が出来ないよう制度改正して頂きたい。

2) 技術点の採点基準について

- ・ 殆どの採点項目について協会員各社の立場により両極端な意見が有り、1つの意見にまとめるのは難しい。実情を調査し、県にも検討して頂きたい。
- ・ 「ISO取得」について、評価方法や運用の実態について検討して頂きたい。
- ・ 若手育成にインセンティブを与える評価方法を検討して頂きたい。

(2) 測量等業務におけるダンピング対策の見直しについて

県から協議のあった「測量等業務におけるダンピング対策の見直しについて(案)」について、意見を提出した。(11/24)

県案 ① 成果品重点確認価格を下回る価格で落札した者に対し、以下の対策を実施する。

- 1) 配置技術者資格要件の厳格化・・・[現行制度を継続]
- 2) 他の低価格落札業務との兼務禁止・・・[現行制度を改正]
兼務禁止対象範囲を県発注業務に拡大。
- 3) 履行確認の強化・・・[現行制度を改正]

県案 ② 調査基準価格を下回る価格で応札した者は、低入札価格調査を実施したうえで落札者としての適否を判断(総合評価に限る)。

協会意見① 基本的に了解出来ます。

なお、3) 履行確認の強化【現行制度を改正】における受注者欄「正午までに提出」について、国交省取組の実態等も調査願い、期限の緩和の検討をお願いいたします。

協会意見② 了解出来ます。

なお、この見直しについて会員から意見を求め、3月22日に県からの説明会を開催した。

2 委託業務全般についての検討について

(1) 歩掛見直しの提案について

転石調査の歩掛については県に提案しているところだが、地形測量(落石位置をプロットのため)が入っていないため再度検証し提案した。(8月4日)

[県 歩掛適用通知 12月20日付 平成29年12月1日以降調達広告を行う業務から適用]

(2) 交通量調査業務に係る歩掛

県から見積り提出の依頼があり、技術委員会で検討した。

7月21日 県からの依頼

8月4日 県へ提出

9月1日 県からの確認・再考依頼及び提案を受け再度検討。回答。

3月19日 「道路交通量調査に係る業務歩掛」を県策定。

(平成30年4月1日以降調達公告(調達公告を行わない場合にあつては、入札日の通知)を行う業務から適用)

(3) 災害査定関係歩掛

県から見積り提出の依頼があり、技術委員会で検討した。

9月11日 県からの依頼

1月22日 県へ提出

- ・ 既存積算基準（被災状況の写真撮影・整理歩掛等）について現行の現場実態に合った内容に変更
- ・ 被災状況の写真撮影に無人航空機を用いる必要がある場合の歩掛
- ・ UAVを用いた測量を実施する場合の歩掛

3月19日 県からの確認事項について回答

3月8日 災害査定関係測量設計業務標準積算基準を県改定

（H30.4.1以降調達公告を行う業務から適用）

(4) 智頭町市瀬地区の土砂崩落に関する検討について

市瀬の山腹崩壊による国道53号への土砂崩落を受け、取組方策等について県と協議し、見積等検討し提出した。

○ UAVによる地形測量の歩掛見積り提出（6月15日）

東部支部で検討し県へ提出した。

○ 県協議（6月20日）

今後の調査方針と具体的な取組方針を協議し、経費の見積りは協会が対応することとした。

○ 市瀬地内の土砂流出溪流最上流部の調査検討歩掛見積り提出（6月27日）

東部支部で検討し、八頭県土整備事務所へ提出した。

(5) 砂防台帳管理に係る歩掛提案（7月26日）

米子県土整備局から管内における砂防設備の維持管理に必要な砂防台帳平面図データの整備についての検討依頼があり、西部支部が検討し、西部総合事務所長へ提案した。

引き続き、全県での対応について提案した。

3 経営に関する施策の推進

(1) 平成29年度インターンシップ研修生受入れ

東・中・西部会員5社が10名受入れた。

(2) 会員相互の親交・情報交換のための懇親会の開催

1) 4月28日第6回通常総会及び11月15日報告会終了後、会員相互の親睦を図るため懇親会を実施した。

2) 協会員の一層の親睦を図るため、「親睦グラウンドゴルフ大会」を開催し、親睦を深めた。今年度は、台風災害対応の関係から11月の開催となった。

開催日 平成29年11月21日

場 所 北栄町 レークサイド大栄

参加者 90名（協会員30社職員、協会役員）

(3) 県への要望活動・意見交換会等の実施

1) 県関係

① 県土整備部との意見交換（6月5日 県庁）

- 内容
- ・ 県測協の平成29年度事業計画について
 - ・ 県の平成29年度公共事業の概要、執行計画について
 - ・ 総合評価制度の在り方について
 - ・ ICT活用に対する県の取組みについて
 - ・ 県と県測協の連携・協力について

② 県土整備部県土総務課との協議（7月14日 県庁）

第2回経営委員会で検討した“総合評価入札制度におけるJVの在り方と評価項目について” 県と協議した。

③ 県土整備部県土総務課との意見交換（7月28日 県庁）

協会から、担い手不足に対する検討資料とするため実施した「技術者に関する調査」(H29.7.14～21) 結果、経営委員会で実施した簡便型総合評価入札についてのアンケート (H29.6.26～30) 結果を提出、意見交換した。

④ 県との意見交換会

開催日 平成29年8月29日

場 所 鳥取市 とりぎん文化会館

出 席 30会員

協会提出議題

- 1、平成29年度公共事業の発注状況と今後の見通しについて
- 2、ICT活用に対する県の取組みについて
- 3、総合評価制度の在り方について
- 4、県と県測協の連携・協力について

⑤ 簡便型総合評価入札について要望（11月8日 県庁）

第5回理事会で決定した内容を県土総務課へ提出した。

1) JV参加のあり方について

- ・ 今後もJVを残すという前提で現在の制度を改正・検証しながら進めて頂きたい。

(仮にJV制度を無くし単独参加を基本とする場合は、ランク分けなど根本的な制度改正が必要)

- ・ セーフティネットの目的以外でJV参加が出来ないよう制度改正して頂きたい。

2) 技術点の採点基準について

- ・ 殆どの採点項目について協会員各社の立場により両極端な意見が有り、1つの意見にまとめるのは難しい。実情を調査し、県にも検討して頂きたい。
- ・ 「ISO取得」について、評価方法や運用の実態について検討して頂きたい。
- ・ 若手育成にインセンティブを与える評価方法を検討して頂きたい。

⑥ 県技術企画課との意見交換会（2月7日 県庁）

ICT活用の展開の現状と今後の取り組み方について県から説明を受けるとともに、意見交換を行った。

この中で、『県は鳥取大学との共同研究としてSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に取り組んでおり、そのひとつとして「ロボット技術の活用による橋梁点検支援」として、近接目視にロボットを活用することを考えている。具体的には、江島大橋での実装実験を計画している。「新技術実装検討委員会」を3月に立上げ、実装実験を6～7月に行い、10月に取りまとめることとしている。実験結果の検証については、別に「新技術適用評価委員会」を立ち上げ、オープンな場で行うこととしている。ついでには、協会に「新技術実装検討委員会」に参画して頂き、調査と調書作成に携わってほしい。実際に点検する者としての意見を言ってほしい。』との要請があり、「参画する方向で検討する」旨回答した。

4 その他経営基盤の充実

(1) 各種経営講習会への参加

1) 平成29年度県土整備部人権問題研修会

開催日	平成29年7月12日
場所	鳥取県庁
参加者	6名

2) 人事・管理系部門等担当者向け測量CPD活用のためのセミナー（11月14日 松江市）

3) 平成29年度入札・契約手続き等に関する説明会（4月14日 米子市）

4) 平成30年度発注者支援業務等に関する民間事業者向け説明会（12月5日 出雲市）

5) 全国「道の駅」シンポジウム（10月5日 倉吉市）

(2) 企業倫理・法令遵守の徹底

1) 平成29年度建設関連5団体共催講習会

開催日	平成29年10月17日
場所	広島市 広島県民文化センター
内容・講師	独占禁止法の遵守について

講師：公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所中国支社
建設コンサルタント業界を取り巻く最近の情勢について

講師：中国地方整備局企画部技術管理課長

(3) 経営関係業務支援

1) 今年度も国土交通省に提出する申請、報告等の審査を行った。

○ 財務報告 ○ 登録証明願

2) 鳥取県県土整備部補助事業 建設関係企業の担い手確保・育成事業周知

3) 下請取引適正化周知

4) 建設業における墜落・転落災害防止対策強化キャンペーン周知

5) 平成29年度全国労働衛生週間周知

6) 平成30年度全国安全週間、労働災害防止計画推進周知

(4) 技術者に関する調査実施（7月）

将来の担い手不足への検討資料とするため、技術者の年代別人数の調査を行い、県との協議に活用した。

(5) 「労働環境の改善」アンケート実施（7月）

昨年度、本協会が具体的に提案した「労働環境の改善」について、県は平成29年1月31日付「労働環境の改善に向けた取組について（送付）」を発出され、取組まれているところだが、この取組を検証するため、アンケート調査を実施した。この結果を受けて意見交換会を行い、更なる改善に向けて取り組むこととした。

(6) 米子自動車道付加車線設置事業者着工式（12月24日 江府町 会長出席）

(7) 中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会

開催日 平成29年11月21日

場 所 議員会館

参加者 鳥取県知事、県選出国會議員、国交省道路局長、県会議長、県内関係市町村長、当協会会長他

(8) 鳥取県経済成長戦略改訂に係る意見交換会（1月30日 会長出席）

(9) 一般県道鳥取空港賀露線開通式（3月10日 小林副会長出席）

(10) 「鳥取県県土整備部設計業務品質確保ガイドライン」について

このガイドラインについて、意見を求められ対応した。（平成30年3月）

Ⅲ. 業界の将来に向けて

1 新規技術者確保に向けた環境整備

(1) HPの改善について

HPは情報発信源として強力なツールのひとつとなっており、特に若者が就職するにあたって、業界の情報を得るものは第1に協会HPであることから昨年度改善したところだが、更に情報発信するため、各会員へ求人情報を聞き取り“会員企業紹介”の会員一覧に「求人募集」欄を設け反映させた。

(2) 正規雇用1万人チャレンジ推進会議（2月13日 山本副会長出席）

鳥取県では、若者等が県内で安心して働き続けられて、子育てや家族の介護等が続けられる環境を目指し、平成27年度から4年間で1万人の正規雇用創出を目指し「鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画」を策定され、具体的な取組を「平成28年度アクションプラン」として策定された。

今年度の取り組み状況、来年度の取組の方向性、今後必要な施策に関する意見交換のため、この会議が開催され、当協会も建設土木関係団体の代表として参加した。

この中で、県教育委員会から、来年度の高校生のインターンシップ研修は普通科高校をモデル的に数校指定し実施したい旨発言があった。

(3) 鳥取県経済成長戦略改訂に向けた官民会議（1月30日）

鳥取県では、鳥取県を取り巻く環境変化に対応し、新たな経済成長を創造するため「鳥取県経済再生成長戦略」の見直し作業が行われている。

この見直しの骨格と取組項目（案）等の報告と、意見交換が行われ、会長が出席した。

(4) 鳥取県建設分野担い手確保・育成等連携協議会

鳥取県では、公共工事の品質確保の促進に関する法律第3条の理念に則り、行政、学術機関、民間企業等関係機関が、連携して建設分野の担い手の確保・育成の取組及び公共工事の生産性を向上させる取組を推進すること、持続可能な建設産業の発展及び建設分野における県の強靱化につなげることを目的としてこの会を設置され、この会のメンバーとして、当協会も参加した。

1) 第1回（8月22日）

- ・ 予算と執行計画
- ・ 研修計画と実績
- ・ 人材育成プログラムの策定状況

2) 第2回（2月15日）

- ・ 平成30年度事業計画
- ・ 事業体制

3) 第3回（3月29日）

- ・ 規約の改正
- ・ 平成29年度決算案
- ・ 平成30年度予算計画

(5) 「技術者に関する調査」（7月）

担い手不足に対する検討資料とするためこのアンケート調査を実施。県との意見交換会等に活用した。

(6) 鳥取県人材育成奨学金支援助成金制度周知（対象拡充；専門学校）

2 創立40周年記念事業の開催

(1) 記念式典の開催

開催日 平成29年11月15日
場 所 ホテルニューオータニ鳥取

(2) 記念誌の発刊 平成30年3月

(3) 「ドローンによる学校撮影・操縦体験」、「写真贈呈」

創立40周年を記念して、記念事業として県内実業高校3校への「ドローンによる学校撮影・操縦体験」を行うとともに、その写真を贈呈した。

1) 撮影、操縦体験

5月26日 鳥取工業高校（担当；アイコンヤマト(株)）
6月19日 倉吉農業高校（担当；(株)ジーアイシー）
11月22日 米子工業高校（担当；サンイン技術コンサルタント(株)）

2) 写真贈呈

11月21日 米子工業高校
22日 倉吉農業高校
27日 鳥取工業高校

(4) 協会腕章作成

協会名の入った腕章を作成し各会員へ配付、視察研修等の協会行事・災害応援時等に活用した。

3 公共の福祉に寄与する事業の実施及び参加

(1) 第19回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展後援

今年度もこの作品展に後援し、小学校の部1名に当協会会長賞を授与した。

(2) 第12回鳥取県県土整備部測量競技会（11月12日）

準備作業；(株)ジーアイシー、(株)どうそう企画
参加；鵬技術コンサルタント(株)

(3) 鳥取県建設技術センター研修会への講師を派遣した。

「測量実習研修」（県委託研修 9/8）

講師；(株)ヒノコンサルタント

「測量実習研修」（センター自主研修 10/5）

今年度からこの研修が実施され協力した。

講師；(株)泉コンサルタント

(4) 基準点説明板設置・維持事業

鳥取市、倉吉市、米子市に設置している基準点説明板の維持・管理を行った。

(5) 平成29年度大山環状道路自動車利用適正化社会実験へ協賛（10月）

- (6) 「緑の募金」運動賛同
- (7) 日本赤十字活動協賛
- (8) 鳥取地方裁判所専門委員推薦（推薦 サンイン技術コンサルタント(株) 伊藤 徹 氏）

4 測量設計無料相談の実施

測量に関連した用語、資格者会社の問い合わせ等について、事務局、協会ホームページで対応した。

また、各会員が年間を通して個々に実施した。

5 災害時の技術協力及び技術援助

- (1) 台風5号、18号、21号に対する応援

鳥取県から災害協定に基づく応援要請があり、東部支部、中部支部で対応した。

対応状況

- ・ 台風5号 鳥取県土 2ヶ所 八頭県土 1ヶ所
- ・ 台風18号
鳥取県土整備事務所 96ヶ所、八頭県土整備事務所 20ヶ所
中部総合事務所 9ヶ所、農林水産部 1ヶ所、東部農林事務所 1ヶ所
- ・ 台風21号
八頭県土整備事務所 4ヶ所、中部総合事務所 1ヶ所
東部農林事務所八頭事務所 1ヶ所

- (2) 災害の発生に備え、応援協力体制を確認・整備した。

降雨による災害について迅速に対応し、早期の災害復旧となるよう努めた。

また、協力体制等についての問題点等を調査し、より迅速な対応・復旧となるよう検討した。

- (3) 県の災害支援要請訓練参加

県及び県と災害協定を締結している事業者等による災害発生を想定した支援要請訓練が実施され、参加した。

この訓練は実連絡ルートで実施されることから、各支部へ事前連絡し周知を図った。

訓練日時：平成30年1月17日

訓練場所：鳥取県庁及び各協定締結事業所

参加者：鳥取県、協定締結業者

- (4) 平成29年鳥取県中部地震図上訓練参加（10月18日 中部支部対応）

6 「測量の日」関連行事の実施

- (1) 第22回中国地区測量技術講演会

「測量の日」中国地区連絡協議会主催、国土交通省中国地方整備局等が後援しているこの会が広島市で開催された。

日 時 平成29年6月22日
場 所 広島市 広島県民文化センター
内 容

○ 特別講演

演題：多次元時空間情報 IoT プラットフォームの構築とその応用

講師：広島工業大学 環境学科 地球環境学科 教授 菅 雄三氏

○ 技術講演 1

演題：新たな「地理空間情報活用推進基本計画」の策定について

講師：国土地理院 企画部 地理空間情報企画室長 石 関 隆 幸 氏

○ 技術講演 2

演題：航空レーザ計測による森林解析

講師：アジア航測(株) 西日本空間情報部 技術部長 相 原 修 氏

○ 技術講演 3

演題：測量・地理空間情報分野における先端的取組について

講師：(株)荒谷建設コンサルタント 計測情報システム部

測量課 担当課長 越 智 貴 政 氏

(2) 6月3日の「測量の日」を中心に、懸垂幕、ポスターを提示した。

また、鳥取県では、県庁前電光掲示板に表示され、PRに努めていただいた。

協会は、社団法人から一般社団法人へ移行し協会名称が変更となっていることから、新しく幕を作成・購入し、平成30年度から各会員が掲揚することとした。

(3) 「測量の日」中国地区連絡協議会

開催日 平成30年2月5日

場 所 広島市

議 題 ・平成29年度「測量の日」関連行事実施報告
・平成30年度「測量の日」関連行事について

出席者 国土地理院中国地方測量部長、中国地方整備局、海上保安庁、中国地方5県、広島大学、中国5県測協事務局長 等

IV. 全測連その他関係諸団体との連携

1 全測連関係

大野木会長が全測連技術委員会「i-Construction 推進部会」の副部会長として種々活動した。

(1) 平成29年度定時総会（5月26日 東京都）

○ 平成28年度事業報告について

○ 平成28年度貸借対照表及び損益計算書の承認について

- (2) 全国会長会議（10月3日 金沢市）
 - 業務執行状況について
 - 意見交換
- (3) 全測連会長懇談会・賀詞交歓会（1月12日 東京都）
- (4) 都道府県入札制度調査（平成29年度）
- (5) 国土交通省入札契約状況送付

経営委員会経営安定化研究部会では、このデータを取り纏め冊子を作成・送付した。
- (6) 「用地測量の手引」パンフレット送付

経営委員会調査研究部会では、この手引きを作成、送付した。
- (7) 「入札保証金」についての調査
- (8) 災害協定状況調査（4月）
- (9) 測量分野における i-Construction に関する調査（平成29年11月）
- (10) UAS利活用推進部会 「UAV/UAS利活用の実例」調査（平成29年11月）
- (11) 土木学会「共・民間企業における土木基礎教育に関するアンケート」調査(平成30年1月)
- (12) 水文観測業務の共通仕様書、積算基準への意見照会

推 薦 ; サイトウコンサルタント(株)、西谷技術コンサルタント(株)
シンワ技研コンサルタント(株)
- (13) 測量業における手続きコスト削減に関するアンケート調査（平成30年3月）

協力会社 ; サンイン技術コンサルタント(株)、西谷技術コンサルタント(株)
- (14) 測量調査業務共通仕様書(案)、測量調査業務積算基準、標準歩掛についての意見照会

2 全測連中国地区協議会関係

- (1) 第72回定例会（5月18日 出雲市）
 - 平成28年度事業報告並びに収支決算の承認について
 - 平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
 - 各県提出議題に係る意見交換
- (2) 第73回定例会（10月12日 下関市）
 - 各県提出議題に係る意見交換
- (3) 国土交通省中国地方整備局との意見交換会

開 催 日	10月10日
場 所	広島市
協会出席者	大野木会長、山本副会長
要望事項	○安全・安心の確保及び地域社会の発展に寄与する社会基盤整備の円滑な推進が可能となる、安定的な事業量の確保
	○担い手（若手技術者等）の確保・育成に必要な経営環境の整備

- ・地域要件の重点化による地元企業の受注機会の確保
- ・落札率向上に向けた取り組みの推進
- ・一括審査方式の導入による受注企業の分散化
- ・新技術関連情報の積極的な提供及び中小建設コンサルタント企業の受注機会の確保に配慮した発注方法の採用
- ・地元企業の受賞機会の拡大

(4) 会長会議

第1回 8月24日 (広島市)

- 中国地方整備局との意見交換会議等について
- 第5回設計関係技術発表会の内容について

第2回 平成30年3月9日 (広島市)

- 平成29年度決算(見込み) & 平成30年度事業計画・予算(案)について
- i - Construction/CIM 関係講習会開催方針

(5) 事務局長会議

第1回 (7月20日 倉敷市)

- 地整意見交換に係る課題について
- 第5回調査設計関係技術発表会について他

第2回事務局長会議 (12月14日 広島市)

- 全測連ホームページ掲載に係る操作説明について

第3回事務局長会議 (2月5日 広島市)

- 平成30年度事業計画(案)について

(6) 若手技術者の配置を促す入札契約方式の試行についての

中国地方整備局では、若手技術者の配置を促す入札契約方式の試行として、管理技術者に代えて管理補助技術者を評価する試行を行っており、この度、測量業務における本試行に関する意見を求められ、取り纏めの上、地区協へ提出した。(会員2社の意見を回答)

V. 活力ある協会運営

1 総会

(1) 第6回定時会員総会 4月28日 米子市

- 平成28年度正味財産増減計算書及び貸借対照表の承認について
- 平成28年度事業の報告
- 公益目的支出計画実施報告
- 平成29年度事業計画について
- 同 収支予算について

(2) 第1回報告会 11月15日 鳥取市

- 理事会・各専門委員会報告

2 理事会

(1) 第1回 4月14日

- 各委員会の報告について
- 平成28年度事業報告、決算について
- 公益目的支出計画実施報告について
- 第6回定時会員総会について

- ・ 総会開催日時・会場について
- ・ 総会議案について

議案 平成28年度正味財産増減計算書及び貸借対照表の承認について

(2) 第2回 5月22日

- 各委員会の報告について
- 県との意見交換会について

(3) 第3回 7月4日

- 新規入会について

(4) 第4回 7月25日

- 新規入会について

(5) 第5回 9月26日

- 各委員会の報告について

(6) 第6回 11月9日

- 創立40周年記念事業について
- 各委員会の報告について

(7) 第7回 12月19日

- 各委員会の報告について
- 創立40周年記念式典の結果について

(8) 第8回 2月8日

- 予算の補正について
- 各委員会の報告について
- その他

- ・ 平成30年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」への広告掲載
- ・ 第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取への協賛
- ・ (一社)鳥取県測量設計業協会と県技術企画課の意見交換

(9) 第9回 3月22日

- 各委員会の報告について
- 平成30年度事業計画・予算について
- 平成29年度事業執行状況について

3 決算監査

平成28年度決算監査（4月10日）

4 専門委員会

(1) 総務委員会

1) 第1回 5月15日

- 総務委員会担当事項の確認
- 平成29年度災害現地視察・研修について
6月8日、9日 熊本県阿蘇郡南阿蘇村 阿蘇大橋地区斜面崩壊対策工事現場害視察を実施。
- 平成29年度郷土づくりシンポジウム（10月24日）について
- 会員親睦行事「グランドゴルフ大会」について
- 測量の日（6月3日）の広報についての確認

2) 第2回 10月16日

- 平成29年度郷土づくりシンポジウムについて
- 会員職員親睦行事「グラウンドゴルフ大会」（11月21日、於 北栄町）について

3) 平成30年度郷土づくりシンポジウムの調整

(2) 経営委員会

1) 第1回 5月15日

- 担当事項、今年度の活動内容確認

2) 簡便型総合評価入札の「JV参加のあり方について」、「技術点の採点基準について」のアンケート調査実施

3) 第2回 7月5日

- アンケートの結果を踏まえた委員会意見のまとめ

(1) JV参加のあり方について

- ① 今後もJVを残すという前提で現在の制度を改正・検証しながら進めて頂きたい。

（仮にJV制度を無くし単独参加を基本とする場合は、ランク分けなど根本的な制度改正が必要）

- ② セーフティネットの目的以外でJV参加が出来ないよう制度改正して頂きたい。

(2) 技術点の採点基準について

- ① 殆どの採点項目について協会員各社の立場により両極端な意見が有り、1つ

の意見にまとめるのは難しい。実情を調査し、県にも検討して頂きたい。

② 「ISO 取得」について、殆どの会社が実施、定着しているため、配点の要素から削除してもよい。※ ※後に理事会で内容を修正

③ 若手育成にインセンティブを与える評価方法を検討して頂きたい。

4) 委員会意見を第5回理事会へ提案（9月26日）

上記、第2回委員会結果を理事会へ提案した。

審議結果 - (2) ② 「ISO 取得」について を修正

【修正後】

② 「ISO 取得」について、評価方法や運用の実態について検討して頂きたい。

5) 県へ要望書を提出（11月8日）

第5回理事会で決定した内容を、「簡便型総合評価入札についての要望」として、県土整備部県土総務課へ提出した

(3) 技術委員会

1) 第1回 5月15日

- 高校への出前講座（UAVの演習）について
- 歩掛見直しについて 転石調査について検討
- 平成29年度 測量技術の普及と指導について担当地区を確認
 - ・「測量実習」センター自主研修対応 担当 東部地区
 - ・「測量実習」県からの委託研修 担当 西部地区
 - ・「測量競技会」県の継続研修 担当 中部地区

2) 第2回 7月27日

- 県からの歩掛り作成依頼について
 - 「交通量調査」歩掛を検討し、最終案を決定
- 転石調査について、現地測量歩掛を追加提案することを決定

3) 「交通量調査」歩掛案を県へ提出（8月4日）

4) 設計業務についての情報提供（8月28日）

5) 「交通量調査」歩掛案について県と協議（8月31日）

6) " " についての県提案に対する検討（9月1日）

7) " " " 回答（9月1日）

8) 県災害関係調査歩掛について協議（9月11日）

- 現行の災害関係調査歩掛の見直しについて
- 被災状況の写真撮影にドローンを使用する場合の歩掛り作成について
- UAVによる測量歩掛の作成について

9) 県災害関係調査歩掛作成依頼（9月12日）

- 10) 第3回 12月12日
 - 災害関係調査歩掛作成について
 - 11) 第4回 12月26日
 - 災害関係調査歩掛について (1月22日 県へ提出)
 - 海岸漂着物調査業務について (検討中)
 - 12) 県へ見積書提出 (1月22日)
 - 13) 第5回 (書面協議) (1月23日)
 - 第3回鳥取県優良業務発表会の開催について
 - 14) 第6回 (書面協議) (3月13日)
 - 災害関係調査歩掛についての県確認事項への回答について
 - 15) 県確認事項回答 (3月19日)
- (4) 創立40周年記念事業実行委員会
- 1) 第3回 4月11日
 - 創立40周年記念事業について
 - ・各担当の取組み状況について
 - ・ドローンによる学校撮影について
 - <撮影会社>
 - 東部：アイコンヤマト (株)
 - 中部：(株) ジーアイシー
 - 西部：サンイン技術コンサルタント (株)
 - ・広告依頼について
 - ・今後のスケジュールについて
 - 2) 記念誌担当部会 7月24日
 - 3) 第4回 8月29日
 - 4) // 打合せ 8月31日
 - 5) 式典会場下見、打合せ 9月13日
 - 6) 式典等打合せ 9月20日
 - 7) 式典打合せ 10月27日
 - 8) // 11月1日
 - 9) 式典打合せ、司会者との打合せ 11月6日
 - 10) 記念誌担当部会 12月12日
 - 11) 記念誌担当部会 12月26日
 - 12) 記念誌担当部会 2月2日
 - 13) 記念誌納品 3月8日

(5) 公益目的支出計画の実施完了

平成28年(4/1~3/31)の「公益目的支出計画実施報告書」を5月26日に提出し、8月23日付の「公益目的支出計画の実施完了の確認書」により、平成29年3月31日をもって公益目的支出計画の実施が完了したとの通知を受けた。

平成29年度事業報告附属明細書

平成29年度に実施した事業等の重要な事項の明細については、平成29年度事業報告書に記載のとおりである。



第201700127662号
平成29年8月23日

一般社団法人鳥取県測量設計業協会
会長 大野木 昭夫 様

鳥取県知事 平井 伸治



公益目的支出計画の実施完了の確認書

貴法人から平成29年6月26日付けでされた、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第124条の規定に基づく公益目的支出計画の実施が完了したことの確認の請求について、公益目的支出計画の実施が下記の日に完了したことを確認します。

（担当）総務部行政監察・法人指導課 公益法人担当 木山 電話0857-26-7884

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 平成29年3月31日